



平成 28 年 5 月 1 日 現在	
総世帯数	1,836 世帯
総人口	4,825 人
男	2,340 人
女	2,485 人

『神林みんなの幸せ計画』

『共に支えあい、安全で安心して、生き生きと暮らせる神林』のために！



3月23日(水)に第18回神林地区の福祉を考える集いが開催され、『神林みんなの幸せ計画』の見直しと、神林地区地域ケア会議の立ち上げが主な議題となりました。

「幸せ計画」は5年ごとに見直すことになっていて、今回の見直しでは、地区に住む18歳以上の全員を対象にして行われたアンケートの結果が反映され、地域づくりの必要な課題となりました。

重要性と、雪かきや災害時の支援などの困りごと、普段の見守りや声掛けなどに対応するために、「見守りの推進」が基本目標として位置づけられるとともに、これまでの目標や施策も継続・充実させた上で、わかりやすい言葉や内容に見直しがされています。

この機会に各戸配布された資料を是非ご一読ください。

『神林みんなの幸せ計画』

基本目標と今回追加された新たな施策



※詳細は4月初め各戸配布の資料を参照

- 1. 絆を深める地域・町会活動の推進**
 - ・松本山雅の応援・支援を核とした地域づくり
- 2. 見守りの推進**
 - ・神林地区地域ケア会議の立ち上げ
 - ・地域全体での見守り体制づくりの推進
 - ・コミュニティスクール等による学校との連携・支援
- 3. いきいきと暮らせる地域づくりの推進**
- 4. 人材の育成**
 - ・雪かき隊等ボランティア組織づくり
 - ・日赤奉仕団の結成
 - ・町会役員のなり手を確保するための活動の推進
- 5. 地域福祉推進体制の整備・連携**
 - ・「神林みんなの幸せ計画推進委員会」を中心とした、神林地区の地域福祉づくりの推進
 - ・地域づくりセンターを中心とした地域づくりの推進

春の史跡めぐり

4月27日(水)文化委員会主催の春の史跡めぐりは37名の参加で、信濃町を訪ねました。

太古のロマン香る「野尻湖ナウマンゾウ博物館」では、日本の氷河期を代表する化石の「ナウマンゾウ」と「オオツノジカ」の復元像や、触ることができる本物のナウマンゾウの歯、発掘された石器、化石が豊富に展示されています。また、ナウマンゾウの狩りをしてきた4万年前の野尻湖人の暮らしにも思いを馳せることができました。

「一茶記念館」では信濃町柏原宿に生まれた一茶の波乱万丈の生涯と、自由で親しみのある作品を重ね合わせ、生涯に2万句の俳句を残した謎多き、俳人一茶の魅力にふれることができました。



野尻湖ナウマンゾウ博物館にて

ノルディックウォーキング

4月21日(木)に乗鞍高原で講習会が行われました。

インストラクターの指導を受けてから、水芭蕉のつぼみ咲く一之瀬園地内約4kmをトレッキングしました。

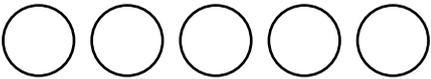


ノルディックウォーキングは年齢性別を問わない理想的なエクササイズができます。

NEW! キーワードはなに?

本紙神林版の記事内にキーワードの文字が散りばめられています。見つけて単語にしてください。わかった方は神林公民館に備え付けの用紙に必要事項を記入してご応募ください。正解者の中から毎回抽選で**10名に500円分の図書カード**をプレゼント！締切は**6月30日(木)**、当選発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。多数のご応募お待ちしております！

【今回のキーワード】



菅野ツインズ

子ども達は大きな声で挨拶し、とても気持ちがいい。試合や練習で声を掛け合い、元気に白球を追ってグラウンドを走る姿は見る人に元気を与える。また、ユニフォームも縦縞で高校野球のチームのようにカッコよい。

4人の指導者のもと「仲間を信じて全員野球」を掲げ、挨拶や道具を大切にすることで、感謝の気持ちを育む指導を行っている。

昨年、中信地区の優勝をあと一歩のところまで逃したので、今年度は優勝を目指している。

菅野地区の少年野球のチームで、菅野小学校の児童を中心に18名で構成、農村広場をメインに試合や練習を行っている。



体験は随時OK、元気な仲間と一緒に野球をしたいメンバーを募集中!



公民館活動を担う 役員さん

神林公民館委員

運営委員

町会長

Table listing committee members and their roles across various districts like 川西, 川東, 寺家, etc.

Table listing members of various committees such as 民生児童委員協議会, 農村女性協議会, 学識経験者, etc.

Table listing members of the 神林公民館 (Shinrin Citizens Center) including 公民館長, 副委員長, and 幹事.

神林公民館 平成28年度事業計画

4月26日、神林公民館運営委員会が開催され、本年度の事業計画と予算が決まりました。

本年度の主な公民館事業は次のとおりです。

【広報活動】 公民館報(年6回) 公民館だより(年12回) 館報研修会

【図書視聴覚活動】 フォトコンテストの開催 講座の開催 玄関ホールの演出

【体育活動】 運動会の開催(9月4日) 球技大会の開催(2月26日) 婦人ソフトバレーの共催

【芸術文化活動】 ポスターコンクールの開催 文化祭の開催(10月16日) 文化講演会の開催

【学習活動他】 歴史文化財等の見つけ直し 住民ニーズを反映した講座の開催

【人権啓発推進活動】 視察研修、県市研修会参加 学習会、講座

鎖川 各地で開山祭の神事が行われ、いよいよ夏山シーズンの始まりである。今年から8月11日が「山の日」として国民の祝日に制定された。

と、山頂からの眺望は、山の高低に関係なく、登頂した者のみが味わえ、筆舌に尽くしがたく素晴らしい。信州には、槍・穂高をはじめ様々な山があり、山好きには最高の地である。しかし、登山は危険と隣り合わせである。昨年の夏山遭難の原因は転滑落、転倒の次に疲労凍死、道迷い、病気と続く。最近、簡易な装備の登山者を見かけるようになった。特に初心者が多いようである。天候が悪化すれば平地では想像できない状況になり命懸けとなる。 「登りたい山より、登れる山に」安全登山を第一の信条にして今年も山に登る。